

# 第 2 次京丹後市男女共同参画計画の 進捗状況について

○令和 5 年 9 月 2 2 日 (金)  
○市民環境部 市民課

# 令和4年度事業実施報告①

## 相談支援

- ・カウンセラーによる女性相談 年間16回開設

## 啓発事業

- ・男性の育休取得促進事業として講座や啓発冊子作成
- ・児童生徒へ男女共同参画啓発冊子の配布
- ・デートDV防止講座を市内全中学校で実施



事業	内容
男女共同参画講演会	「パパの子育てが家族・会社・社会を元気にする」 講師：堀恭平氏 (NPO法人ファザーリング・ジャパン関西理事) 参加：69人
デートDV防止講座 (市単独)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・峰山中学校 2年生99人、教員4人</li> <li>・大宮中学校 2年生82人、教員4人</li> <li>・網野中学校 3年生83人、教員5人</li> <li>・丹後中学校 3年生32人、教員3人</li> <li>・弥栄中学校 3年生36人、教員4人</li> <li>・久美浜中学校 3年生57人、教員2人</li> </ul> 参加計：生徒389人、教員22人
デートDV防止講座 (京都府と共催)	丹後緑風高校久美浜学舎3年生23人、教員4人 講師：安本理子氏 (ウィメンズカウンセリング京都)
京丹後市職員まちづくり出前講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>①丹後緑風高校網野学舎 1年生14人 テーマ：男女共同参画事業について</li> <li>②峰山高校 1年生4人 テーマ：人権と女性について</li> </ul> 参加計：18人
男女共同参画啓発冊子の配布	市内の全小中学校を通じて下記の学年に配布 小学校1年生、小学校4年生、中学校1年生、中学校3年生
展示	<ul style="list-style-type: none"> <li>①男女共同参画週間 市内6図書館(室)にて、男女共同参画関連図書の展示</li> <li>②配偶者からの暴力防止月間 市役所庁舎にて、啓発コーナーの設置</li> </ul>

## 令和4年度事業実施報告②（男性の育休取得促進プロジェクト）



内 容	
「おやこ運動教室～パパと遊ぼう～」 講師：吉岡秀真氏（丹後町の地域づくり支援員）	参加：19人
「パパのための離乳食教室&座談会」 講師：川渕一清氏 井上健吾氏（有限責任事業組合まちの人事企画室）	参加：7人
「絵本で子育て&パパの座談会」 講師：川渕一清氏（有限責任事業組合まちの人事企画室） 奥田清子氏（ねぎぼうず文庫）	参加：6人
オンラインセミナー 「パパ&ママのための夫婦会議の始め方講座～家族の未来図を描こう～」 講師：長廣百合子氏 長廣遥氏（Logista株式会社）	参加：19人
事業所従業員対象セミナー 「生き方・働き方が変わる！男性育休のすすめ ～改正育児休業法って知ってますか？～」 講師：浅山貴宏氏（ファザーリング・ジャパン関西）	参加：35人
事業所経営者・管理職対象セミナー「企業戦略として考える育休」 講師：川渕一清氏 和田直樹氏（有限責任事業組合まちの人事企画室）	参加：35人
「育休HANDBOOK」作成	1,000部

## 令和5年度事業予定

### NEW 理工系分野のジェンダーギャップ解消事業

- ・講演会の実施
- ・女子中高生向けプログラミング講座の実施

### 継続 男性の育休取得促進事業

- ・育休HANDBOOK活用セミナーの実施
- ・事業所向けセミナーの実施
- ・育児休業ハンドブックの増刷、配布
- ・事業所アンケートの実施

### 継続 啓発

- ・デートDV防止講座を市内全中学校で実施
- ・児童生徒へ男女共同参画啓発冊子の配布

### 継続 相談事業

- ・カウンセラーによる女性相談 年間12回開設
- ・女性相談啓発カードの配布

事業	内容
理工系分野のジェンダーギャップ解消事業	①「京丹後から可能性無限大！これからの手に職といわれるITにふれてみよう ～進路選択のジェンダーギャップを解消するために～」 講師：斎藤明日美（特定非営利活動法人Waffle） ②WaffleCampホームタウンin京丹後（プログラミング講座） 講師：禰屋希氏（特定非営利活動法人Waffle）
育児休業促進プロジェクト	【育休HANDBOOK活用セミナー】 ①子育て世帯のお金の話～夫婦会議 <sup>®</sup> のすすめ～ 講師：宇田川優子氏（LifeDesignWorks） ②カジークジー 講師：高木駿氏（（一社）チーム主夫ラボ） 【事業所向けセミナー】 ③男性育休取得のすすめ（仮） 講師：和田直樹氏（有限責任事業組合まちの人事企画室）
男女共同参画講演会	「地域におけるアンコンシャス・バイアスについて（仮）」 講師：萩原なつ子氏（立教大学院教授）
デートDV防止講座	①市内全6中学校で実施 ②丹後緑風高校久美浜学舎で実施 ③京丹後市青少年健全育成会対象に実施 ④京丹後市人権研修会で実績報告を実施 ⑤峰山高校で実施（府共催事業） 講師：周藤由美子氏（ウィメンズカウンセリング京都）
男女共同参画啓発冊子の配布	市内の全小中学校を通じて下記の学年に配布 小学校1年生、小学校4年生、中学校1年生、中学3年生

## 重点目標の進捗状況

### ■重点目標の設定（計画P53～P55）（参考資料2）

計画の実効性を高めるため、基本目標ごとに成果目標の設定を行い、事業の実績等を把握することにより、成果を客観的に把握します。計画に掲げた個々の取組内容の実施状況や、指標の達成状況を毎年度把握・点検・評価し、その結果を次年度以降の事業実施に反映します。

### ■基本方針1 思いやり深まるまちづくり

#### 【課題の認識】

- ・家庭内での固定的な性別役割分担の意識を見直し、男女が互いを尊重し合って協力できるよう、男女の意識改革や男性の長時間労働の是正等の環境づくりが重要である。
- ・子どもが幼い頃から男女共同参画の意識を育むことのできる環境が必要である。

#### 【主な取組み】

- ・幼少期からの男女共同参画学習機会を提供するため、小中学校へ男女共同参画啓発冊子を配布した。
- ・男女共同参画セミナーを開催し、男女共同参画に対する意識啓発を進めた。
- ・人権映画会、講演会、高齢者大学人権講座など、幅広い年齢層に人権について学ぶ機会を提供した。

#### 【主な重点目標】

No.	指標	H26年度策定時	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	R7年度最終目標値
1	男女共同参画啓発パンフレット作成・配布	年間1冊作成	年間4冊配布	年間4冊配布	年間4冊配布 年間1冊作成	年間1冊作成
2	男女共同参画セミナー開催数	5回	8回	6回	14回	6回
3	人権学習会の開催数	20回	12回	13回	16回	17回
4	人権学習会への参加者数	1,908人	756人	1,114人	1,015人	2,000人

## ■基本方針2 女性の活躍が築く地方創生のまちづくり

### 【課題の認識】

- ・男女の多様な意見を市政に反映できるよう関係団体に働きかけるなど、女性の参画を促進することが求められる。
- ・多様な年齢層の男女が相互に協力し合い活力ある地域づくりを進めていくためには、誰もが参画しやすい環境づくりが重要である。

### 【主な取り組み】

- ・出産休暇の取得が進む中、育児参加のための休暇も周知され取得する職員が出現したことにより増加した。
- ・管理職に占める女性の割合について、令和3年に32.3%と1.2%上昇したものの、目標の35%には届いていない。
- ・部局長会議等で審議会の女性登用について働きかけを行うなど全庁的に取り組み女性委員の比率が大幅に上昇した。

### 【主な重点目標】

No.	指標	H26年度策定時	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	R7年度最終目標値
6	管理職（課長補佐級以上）への女性登用率（市職員）	29.7%	31.1%	32.3%	32.3%	35.0%
7	男性職員の配偶者出産休暇（2日）及び育児参加のための休暇（5日）の取得率（市職員）	-	出産 70.0% 育児 26.1%	出産 60.0% 育児 40.0%	出産 52.4% 育児 23.8%	100%
8	審議会等における女性委員比率	25.7%	27.6%	29.9%	37.2%	40.0%

### 【管理職への女性登用率】

時点	職員数		課長補佐級以上	比率	病院・保育所・消防職を除く課長補佐級以上	比率
R3.4.1	男	501人	151人	67.7%	104人	80.0%
	女	528人	72人	32.3%	26人	20.0%
	計	1,029人	223人		130人	
R4.4.1	男	507人	155人	67.7%	104人	79.4%
	女	528人	74人	32.3%	27人	20.6%
	計	1,015人	229人		131人	

### 【審議会等における女性委員比率】（参考資料2）

	R3年度	R4年度
女性委員比率	30.7%	37.6%
目標値40%に届いている審議会の数（全審議会数）と割合	12（38） 31.6%	20（37） 54.1%
目標値40%に届いていない審議会の数（全審議会数）と割合	26（38） 68.4%	17（37） 45.9%

※基準日を設けず、年度内に在籍している委員の数で算出しています。5

### ■基本方針3 寄り添い支え合うまちづくり

#### 【課題の認識】

- ・男女がともに健康で仕事と育児を両立し、安心して子どもを産み育てられる地域づくりが必要である。
- ・ひとり親や障害のある人等、多様な立場にある人たちが生き活きと社会参画できるまちをめざすことが必要である。
- ・家庭や地域の支援だけでは解決が困難な課題に対し子育て支援や福祉サービスの充実等を図り社会全体で支えていくことが必要である。

#### 【主な取り組み】

- ・子育て世代包支援センターを中心に、保健師や助産師、心理士などによる相談や両親学級の開催など、妊娠期から子育て期までの継続した支援を実施した。
- ・健診受診の大切さの広報・啓発を強化したことにより、受診率が向上した。
- ・心の健康をテーマとした講演会を開催し、精神疾患に関する知識の普及啓発を進めた。
- ・外国語講座や交流事業を開催し、国際理解を進めた。
- ・ひとり親を対象とした交流事業を実施し、社会的に孤立しない環境づくりを進めた。

#### 【主な重点目標進捗管理】

No.	指標	H26年度 策定時	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R7年度 最終目標値
13	「生命の尊さや心身の健康について学習を行う保健事業」の開催数	11回	12回	12回	14回	12回
14	乳がん検診の受診率	48.2%	46.1%	49.5%	50.8%	50.0%
15	子宮がん検診の受診率	44.7%	40.5%	43.1%	44.7%	50.0%
16	自殺やうつ病等の精神疾患に関する知識の普及啓発講座開催数	26回	講演会1回 研修8回	出前講座1回 研修6回	講演会1回 研修6回 出前講座1回	講演会1回 出前講座5回
21	国際理解・多文化共生講座の開催数	年6回	年12回	年12回	年8回	年7回
22	多言語対応人材の育成者数（英語講座等を通じて人材育成）	80人	7人	11人	46人	120人
23	ひとり親同士の交流機会数	年2回	年2回	年2回	年6回	年4回

## ■基本方針4 人権が尊重されるまちづくり

### 【課題の認識】

- ・配偶者や恋人からの暴力（DV、デートDV）等は、家庭内の問題、男女間の個人的な問題であると捉えがちであり、周囲が気がつかないうちに、被害が深刻化しやすい傾向にある。
- ・「どこに相談すればよいかわからない」という人が多く、誰にも相談できずに、被害が潜在化しやすくなっている。
- ・若年層に対し、DVに対する正しい知識を持つこと、適切な対応を図ることを周知啓発し、あらゆる暴力を未然に防ぐための取り組みが必要である。

### 【主な取り組み】

- ・警察や関係機関と連携を図り、適切に被害者相談対応を行った。
- ・カウンセラーによる女性相談、市民課職員による電話相談等を行いDVの悩みをもつ市民の心のケアに努めた。
- ・国が定めた「女性に対する暴力をなくす運動（11/12～11/25）」の期間を中心に、DV防止の啓発展示を行い、普及啓発活動を行った。
- ・市内の中学校及び高校でデートDVについての理解を深める講座を行った。（中学校6校、高校1校）
- ・インターネット上で起きる人権侵害について講演会を開催し、市民へ意識啓発を図った。

### 【重点目標進捗管理】

No.	指標	H26年度策定時	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	R7年度最終目標値
24	DVを経験した市民のうち、どこに相談したら良いかわからなかった市民の割合（住民意識調査結果）	13.6%	（調査なし） ※R6年度調査予定	（調査なし） ※R6年度調査予定	（調査なし） ※R6年度調査予定	0.0%

### 【女性相談件数】

	R3年度			R4年度		
	DV	DV以外	計	DV	DV以外	計
カウンセラーによる女性相談	9件	8件	17件	17件	6件	23件
電話相談（市民課職員対応）	0件	10件	10件	6件	7件	13件
来所・訪問（市民課職員対応）	18件	1件	19件	7件	2件	9件
計	27件	19件	46件	30件	15件	45件